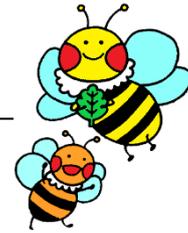




# いぶき

【目指す児童像】自立・自律に向かい成長する子

令和6年2月29日  
柏市立柏第八小学校  
学校だより第11号



## 「親」の心…

私には、今年85歳になる母がいます。認知症が進み、今は私の名前もわかりませんが、素敵な笑顔で今も健在です。私の大好きな自慢の母です。今日はいくつか母の思い出をお話します。

私が小学1年生の時のことです。その頃はまだ、近所の子どもたちが徒党を組んで遊ぶ時代でした。ある日のことです。いつものように1～6年生の子どもたちが集まって、我が家の裏にある空き地で、ベーゴマに興じていました。遊びが盛り上がりすぎてきた頃に6年生の子が言いました。「今日は本気の勝負だから。負けたやつはベーゴマは勝った人がもらうことにする。」さあ大変です。その場に緊張感が流れました。1年生の私は今一つ状況が呑み込めないまま、高学年のお兄さんたちとベーゴマの勝負をしました。一生懸命にコマを回すのですが、お兄さんたちに勝てるわけがありません。大切に集めていた10個のベーゴマは、あっという間にお兄さんたちの物になってしまいました。お兄さんが言いました。「コマのなくなったやつはもう帰れ。」私は悲しみに打ちひしがれ、泣きながら家に帰りました。

悔しい気持ちを母にぶつけました。お兄さんたちが僕のベーゴマを全部取ってしまったこと。お兄さんたちに勝てるわけがないこと。そんなインチキだと思っていること。いじめられて悔しいこと。

(実際、お兄さんたちはグルになって1年坊主のベーゴマを巻き上げようとたくらんでいたことが後でわかりました。) さて、そこで私の母はどうしたと思いますか。私は「悔しかったね。よしよし。」と頭をなでてもらい、母がお兄さんたちをやっつけてくれることを期待していました。ところが、母は思いがけないことを私に言いました。「悔しかったら、『そんなのずるい、インチキだ。ぼくのコマを返して!』って、自分でお兄さんたちに言ってきなさい。泣いてたってコマは返ってこないでしょう。」私は「うそでしょ…」と思い、すがるような眼で母を見上げました。母は追い打ちをかけるように私の背中を押して、玄関の外に押しやりました。玄関はぴしゃっと締まり、私は子ども心に、「これは自分で何とかしないといけないんだ。」と意を決しました。私は泣きながらお兄さんたちにむしゃぶりついていきました。

「自分のような年下の子どもからコマを巻き上げることは間違っている」というようなことを、無我夢中で訴えたのだと思います。(この部分は記憶から抜け落ちていきます。) 気が付くと、ベーゴマは自分の手に返されていました。それからというもの、お兄さんたちが私に無理難題を吹っかけてくることはなくなりました。

次は中学3年生の時の話です。私は致命的に成績が悪く、英語に至っては、中1レベルの内容から躓いていました。当時、学習塾産業が盛んになってきたところで、クラスの大半の友だちは塾に通っていました。単純思考の福島少年は「これだ!」と思い、母に頼みました。「オレも塾に行かせてほしい」と。予想に反し、母の答えは「No」でした。「学校で勉強しない、家でも勉強しない。そんなあなたが、なんで塾に行く必要があるの? 勉強がしたいのなら、まず学校と家で努力しなさい。」あまりにも正論過ぎて、私は口答えができませんでした。それでも、悔し紛れにこう言いました。「じゃあ、俺が高校に行かなくてもいいんだね。」すると、母が言いました。「いいわよ。高校は勉強をしたい子が行くところ。勉強が嫌いなら、中学校を出たら働きなさい。」ぐうの音も出ないとはこのことです。いつもは優しい母

ですが、このように毅然とした口調の時には決して後には引きません。(母は貧しい家庭に育ち、高校には進学させてもらえず、昼間働き、夜間高校に通った苦学生でした。) 退路を断られた私は、それから学校の授業を真剣に聞き始めました。分からないことがあれば先生を捕まえては質問する質問魔と仮し、生まれて初めて必死に勉強しました。

教員になった後、この2つの出来事について母に尋ねたことがあります。

「あのとき、どうしてそうしたの?」と。母の答えは明快でした。



「あなたのためにそうしたのよ。お母さんは、あなたがお兄さんたちにコマを取られるところを家の窓からたまたま見ていたの。『弱い者いじめはやめなさい!』ってね、家から出て行って文句を言ってあなたを守ってあげたかったわよ。でもそれであなたのためになる?お母さんが見ていないところで、同じことがあったらどうする?私は自分で解決できる人になってほしかったの。だから、心を鬼にして、玄関を閉めたのよ。心の中で泣きながら、『のりくん、がんばって!』と応援しながらね…。」

「勉強は誰のためにするもの?自分のためでしょう。それは、塾に行かせれば、多少は成績も上がったでしょうね。でも、それが何になるの?大事なのは成績なんかじゃない。勉強はやる気になればいつでもできる。お母さんのように、働きながらでもね。努力もしないで、始めから何かに頼って問題を解決するような大人にはなってほしくなかったのよ。」

この判断が妥当だったのかどうかは、意見の分かれるところです。親子の関係は、親子の数だけあるので。ただ、母の話を聞いたとき、私個人は、率直に「すごい母だ」と思いました。目先のことではなく、遠い未来の子どもの自立まで考えての言葉だったことが伝わってきたので。確かに、「親」という字を分解すると、『木』に『立』って『見』る」となります。少し離れたところから見守り、いざという時にだけ必要最低限の手助けをする。それが、子どもの自立を促す親(大人)の在り方なのでしょう。

まもなく子どもたちは進級・進学の時を迎えます。将来の自立を見据え、私たち大人は子どもたちにとって「木に立って見守る」存在となりえていのでしょうか。改めて自らをふりかえりたいものです。

### ◇3月の行事予定

日	曜日	行事予定	日	曜日	行事予定
1	金	全校朝会 進度調整日(13:40 下校) 6年2組6時間授業(15:40 下校)	15	金	卒業証書授与式 卒業生 11:45/5年 11:10 下校 1~4年臨時休業
4	月	進度調整日(13:40 下校) 大掃除週間(~3/8)	18	月	1~5年給食最終日 4時間授業(13:40 下校)
6	水	委員会活動(最終)	19	火	3校時日課(11:50 下校)
8	金	図書整備ボランティア スクールカウンセラー来校日(最終)	20	水	春分の日
11	月	6年奉仕活動①	21	木	3校時日課(11:50 下校)
12	火	6年給食最終日 PTA 後期会計監査 6年奉仕活動② クリ-ボ ランティア	22	金	修了式 辞校式 1~4年 11:50 下校 5年机・いす移動(12:10 下校) 卒業生登校(9:30-10:00)
13	水	6年3時間授業(11:50 下校) 代表委員会	25	月	春休み (~4/4 まで)
14	木	6年3時間授業(11:40 下校) 1~4年4時間授業(13:40 下校) 5年5時間授業(15:00 下校) 卒業式前日準備			

#### 【主な4月の行事予定】

★現時点での予定となります。確定した令和6年度年間行事予定は、3/22修了式に配付します。また、4月の行事は、4/5始業式配付の「学校だより4月号」にてお知らせします。4月は通常日課ではない日が多いため、確認をお願いします。

- ・ 4/5 (金) 始業式 (11:30 下校)
- ・ 4/9 (火) 2~6年給食開始 (13:40 下校)
- ・ 4/11 (木) 入学式\* 2~5年臨時休業 6年 11:10 頃下校
- ・ 4/18 (木) 1年給食開始 (13:40 下校)
- ・ 4/19 (金) 2~6年懇談会, 教育課程説明会
- ・ 4/25 (木) 1年5時間授業開始

★昨日行われた「6年生を送る会」の様子につきましては、柏八小のホームページに掲載しました。全校児童の心の交流が実現した素晴らしい会でした。是非ご覧になってください。